

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
経済学		選択	2	1.2	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
白川 浩道	B312	hiromichi.shirakawa			
授業の目的・概要	<p>本科目の目的は、「経済・金融現象を論理的、多角的に分析・評価できる能力」を身につけ、社会に出た時に役立つ実践的な経済論を学ぶこと、である。</p> <p>経済学とは、「家計、企業、政府がモノやサービスなどを交換し合う行動（経済活動）にはどのような傾向が法則として成り立つのか、仮説を立てて検証する」学問である。本科目では、経済学の基本的な概念、基礎理論を学びつつ、実際の経済（世界、日本、山梨県）において、近年どのような変化があったか、今何が起きているのか、背景、原因は何か、近未来に何が起こりそうか等といった課題を考察し、統計データの分析を実践的に学ぶ。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	1. 経済・金融に関する時事ニュースに関心や疑問を持って接すること。 2. 授業で使用する参考資料（事前に送付）に目を通すこと。 3. 授業で学んだキーワード（重要な経済用語）の意味、使い方などを授業後に復習すること。 4. レポート作成に有用な図表作成能力（Excel）を身につけておくこと。				
教科書	使用しない。				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	経済学の重要概念、家計消費行動、企業投資行動について、基本的な事柄を説明できる。		HSU(2)、(5)、(6)		
②	主要な経済統計の内容・特性を理解し、それをを用いた分析・考察を行うことができる。		HSU(2)、(5)、(6)		
③	現代日本経済が抱える主要な課題について、基本的な事柄を説明できる。		HSU(2)、(5)、(6)		
④	山梨県経済の現況と課題を理解し、将来を展望することができる。		HSU(2)、(5)、(6)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	イントロダクション（経済学とは、本科目の目的、概要等）	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	2	
2	経済学の重要概念：合理性、希少性、機会費用、効用（満足度）等を学び、コスバ、タイパ等を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
3	家計の経済的な幸福度と消費行動：雇用と物価に焦点を当てながら、幸福度を評価し、最近の家計消費行動の変化を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
4	家計の所得環境：現役世代の主たる所得である給与（賃金）の決定を労働需給、労働生産性の観点から考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
5	企業利益と企業の投資行動：現代日本企業の収益動向と国内外における投資行動の特徴、日本経済へのインパクトを学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
6	政府の役割：公共投資、社会保障、租税政策等政府の役割を学び、財政赤字（政府収支赤字）の問題を考察する	小テスト 講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	5	
7	経済成長と景気変動：GDP（国内総生産）統計を学び、日本の経済成長と景気変動を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
8	金融の役割：通貨（マネー）、決済、金利といった金融システムの根幹と日銀の金融政策の基礎を学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
9	近年の2大経済ショック：世界金融危機（“リーマン・ショック”、08年秋に発生）、コロナ・ショック（20年春に発生）を学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
10	現代日本経済の課題①：物価高について—物価決定の基礎理論、物価統計を学び、近年の物価高問題を深掘りする	講義 PBL, GW	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
11	現代日本経済の課題②：人手不足について—主要な労働関連統計を用い、職種別の動向や労働需給ミスマッチ等を深掘りする	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
12	現代日本経済の課題③：貿易赤字について—国際収支統計の基礎を学び、近年の貿易赤字の背景、為替相場との関係等を考察する	小テスト 講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	5	
13	現代日本経済の課題④：近年の株価急上昇について—株価決定の基礎理論を学び、株価上昇の背景や持続性等を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	
14	山梨県経済の考察①：基礎統計等を用いて現状を確認する	講義	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4	

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

15	山梨県経済の考察②：課題を探り、将来を展望する	講義 PBL、GW	事前に参考資料に目を通す。 事後に復習、疑問点等を整理。	4
試	レポート試験（期末レポート）			

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		30	40	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	10	15	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	15

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	期末レポート（第 15 回授業の終了後 1 週間以内に提出、本文 1,500～3,000 字<図表を除く>）の内容を評価する。調査分析力、考察力、論理構成、表現力、独自性を重視する。複数提示する候補の中から各自が対象課題を選択することとする。具体的な課題の候補、書き方の留意点、AI 利用の制限等については、学期半ばまでに提示する。	評価、コメントを付し、返却する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	・リアクション・ペーパーの提出状況の評価する（総合評価割合は 30%）。 ・小テスト（第 6 回、第 12 回の授業で実施の予定、所要各 20 分、選択問題が中心、授業内容理解度、基礎知識習得度を把握するためのもの）の結果を評価する（総合評価割合は 30%）。	リアクション・ペーパー：得点を付して返却する。 小テスト：採点し、返却する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	なし。
実践的授業の内容	なし。
そ の 他	1. 参考資料（新聞・雑誌記事、講義資料等）の送付、質問の受付、課題の提示、レポートの回収・返却等は Teams で行うので、通信環境を確保すること。 2. 授業の進捗度合いによって、各回の学習内容を幾分調整・変更する可能性がある。その場合は事前に通知する。